

学校通信

ひがしやま 第22号

発行日 令和7年7月4日(金)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○東山幼小中PTA主催 放課後文化クラブの行事について

・令和7年度地域教育力活性化事業『子ども夢チャレンジ特別編』共催:東山幼小中PTA 放課後クラブのお知らせです。 テトルでも配信していますが、今回は竹のワークショップ【馬のしおり】です。

開催日時: 令和7年7月16日(水)午後3時~4時30分

場所:東山小中学校 家庭科室 お問い合わせ 東山小中学校 TEL:0977-27-5010

★★

○「東山の子どもたちと先生!」~東山小中学校校内研究発表会~

別府市教育長だより【第46号】 令和7年7月1日 別府市教育長

東山小中学校の教育

鶴見岳を見上げながら、九州横断道路を登っていくと、自然の中に染まっている少し小高い所に、東山の校舎が見えてきます。

以前は、へき地校として、東山小中学校、枝郷分校、山の口分校が存続していましたが、児童生徒減少により、統廃合され、現在の東山幼稚園(3年保育試行)、小中学校に至っています。

現在、特認校制度を活用し、多様な園児、児童生徒たちが通っており、地域と密接に関わる少人数教育が展開されています。

6月30日(月)午後、公開研究発表会開会式が開催されました。

開会行事では、谷川校長先生から「子どもたち一人ひとりに、わかる・できる授業を」という授業改善への強い願いを込めたご挨拶がありました。

続いて、三浦研究主任から、「研究の概要」について説明があり、研究を通じて、「何を主張したかったのか」について、学校教育課題、児童生徒の実態、昨年度の研究の歩み、本年度の研究の方向性や方針等について、提案されました。

授業提案者である理科担当の山下教諭は、和やかな雰囲気の中、導入・課題の設定について、「素材と課題との出合わせ方の工夫や考えを持たせるための手立てに着目して、意欲を引き出す仕組み」に挑戦していました。iPadを駆使した生徒さんたちと先生との安心できる授業展開でした。事後研究会では、「事実解釈型」を適用し、山下授業を追いかけると伺っています。

授業は難しく、教師の指示・説明時間の長さ、声のトーン、子どもの考える間の取り方、表情、時間配分等々、事前の配慮や経験等も必要です。東山の研究の灯が輝き、将来の子どもたちの学びにつながることを期待しています。

2学期は小学校で公開発表されるということでした。ありがとうございました。

以上、寺岡教育長の承諾を得て、掲載しました。